

安全・景観・環境を提案する"群交協"

第77号

群交協だより

URL:<http://www.gunkoukyou.com/>

令和2年1月10日 発行

発行

群馬県交通安全施設業協同組合

前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 中 井 正 弘

編集発行人 諏 訪 善 一

群馬県交通安全施設業協同組合

理事長 中井 正弘



あけましておめでとうございます。組合員皆様のご協力により、令和になって初めての新年が無事にそして気持ちも新たに迎えることができました。心から感謝申し上げます。

昨年、五月の皇位継承により、新天皇がご即位され、『令和』が始まりましたが、依然として、身の危険を感じるほどの猛威を振るう自然災害に見舞われています。経験に基づく想定を越える場合もありました。そんな中でも復旧に向けた人の絆のすばらしさにホッとする自分もいます。昨年の台風一九号では県内でも大きな被害が発生しました。組合としても微力ながら「災害時における支援に関する協定」に基づき、初めて迂回路誘導看板などで協力させていただいたところ。自然の脅威に立ち向かうわけにはいきませんが、人智を尽くし備えることはできます。私達組合員は交通安全施設を通じて交通事故という人災に対して立ち向かっています。平成二六年以降、四年連続して群馬県内の高校生の自転車事故率が全国ワースト一のままです。県では昨年『群馬県自転車活用計画』を策定し、自転車通行空間等の整備を進めています。

群馬県知事 山本 一太



明けましておめでとうございます。

群馬県交通安全施設業協同組合の皆さまには、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年知事に就任して以来、文字どおり「全力疾走」を続けてきました。現場に足を運び、数多くの人と意見を交わし、あらゆる課題についてスピード感を持って取り組んできました。毎日が決断の連続で、群馬県のために働けることに大きな充実感とやりがいを感じるとともに、知事としての責任の重さを痛感しており、身が引き締まる思いです。

新しい年を迎え、皆さまからいただいた期待に応えるため、常に先頭に立ち、全身全霊で「新・群馬」を創造していく決意を新たにしました。

今年は、本県の二十年後を見据えた長期のビジョンと、今後重点的に取り組む具体的な政策を体系化した基本計画となる「総合計画」を策定します。今後の県政の羅針盤となる計画です。多くの皆様のご意見をしっかりと伺いながら、計画の策定を進めていきたいと考えています。

群馬県は、豊かな観光資源やバランスの良い住環境など多くの魅力にあふれています。しかしながら、その魅力やポテ

ンシヤルが正しく評価されていないと強く感じています。こうした現状を打破するためには発信力の強化が必要です。四月から県庁三十二階の展望ホールに「動画放送スタジオ」を開設する予定です。さまざまな工夫を凝らし、国内外への発信拠点として大いに活用してまいります。

また三月には、県立世界遺産センター「世界を変える生糸（いと）の力」研究所が富岡市に、四月には、群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」が高崎駅東口近くにオープンします。四月から六月にかけて、大型観光キャンペーンである「群馬デスティネーションキャンペーン」も開催されます。

これらの政策や事業を含め、昨年十月に発表した「全力疾走三六六プラン」に沿って、さまざまなプロジェクトを進めてきました。今後、具体的な施策展開や事業化に向けての取り組みを、さらに加速してまいります。

貴組合の皆さまには、引き続き県政へのご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が、皆さまにとって幸多き輝かしい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

令和二年一月一日

そんな折り、五月に滋賀県大津市の交差点で園児の列に自動車が出っ込み園児が死亡するという痛ましい交通事故が起きました。近年、事故件数自体は減少に向かっていますが、歩行者や自転車と自動車絡み事故は減っていません。私達はこれからも人命の尊さを念頭に、生活道路や交差点等の安全対策であり交通事故を防止できる、交通安全施設の整備にライフワークとして取り組んでまいります。

昨年の組合活動も、皆様のご協力を得て大変充実したものとなりました。社会貢献事業では、清掃作業はもとより、数多くの専門家目線にて標識・防護柵の点検を行いました。また、県主催のぐんま道路フェアに参加し、昨年に引き続き多くのリピーターに会場いただき、実物の案内標識板の展示は今年も子供達に大人気でした。子供達の未来のためにも私達組合員がさらに頑張つてゆかねばと感じたところです。

令和二年も組合員とご家族様共々、希望がもてそして健康で幸せに過ごしていけますようご祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

第28回 交通安全施設研究会

令和元年十月三十一日(木)前橋問屋センター会館において、組合員及び賛助会員のほか、各関係官庁職員の皆様をお迎えし、「第二十八回交通安全施設研究会」を開催しました。

冒頭に、当組合の中井理事長が台風十九号による被災者へのお見舞い、復旧対応のため道路管理課様の講演が急遽取りやめとなったが、早期復旧を願っていること、そして「交通安全施設を通じて県民の生命、身体、財産を守るのは当組合設立時からの使命です。道路交通の安心安全を担う要の仕事は、標識・区画線・防護柵だと自負しており、あらゆることを学び、柔軟な発想を持つて、新しい時代に対応していかなければならない」と挨拶・決意を述べました。

その後の講演では、最初に群馬県警察本部交通規制課の中曽根義文課長補佐が「県内の交通安全対策」と題して、ゾーン30やラウンドアバウト等について説明をしてくださいました。

次に、鋼製防護柵協会の山田慶太氏が「車両の進入抑止対策等」と題して、生活道路用柵や交差点防護柵対策について説明してくださいました。

休憩をはさみ、当組合の宇都木標示部会長が「広角プリズム型標識の現状」と題して、反射の仕組み・構造・変遷・特徴や関東地区における広角プリズム型道路案内標識採用情報について説明してくださいました。

最後はスリーエムジャパン(株)の大澤伸一氏が「全・安心な道路交通環境整備を進める為に、より良い技術の習得と製品を開発して参りたいと思います。」

これから、安全・安心な道路交通環境整備を進める為に、より良い技術の習得と製品を開発して参りたいと思います。



ぐんま道路フェア

令和元年八月二十五日(日)に前橋市の敷島公園ばら園駐車場において、ぐんま道路フェア2019が開催されました。群馬県県土整備部主催の、道路ふれあい月間における取り組みとして、道路を利用する方々にその役割や重要性を改めて認識して頂くとともに、正しい道路利用の啓発や道路政策を発信する事を目的としています。

当組合では、子供達に交通安全標識が入った可愛いイラストの『交通安全ぬり絵』に思い思いに色づけしてもらったほか、大型案内標識板の展示では直接触れてもらったことで、説明も熱心に聞いて頂けました。イベント終了まで、たくさんの方にご来場頂き、交通安全施設整備の大切さに興味を持って頂けたと思っております。

また、同じ主催で十一月に開催された、土木の日イベントinぐんま2019では、「見える土木・見えない土木」と題したパネルディスプレイが県内の土木系の高校生も参加して行われたほか、当組合では「道路標識の変遷」と銘打ち標識の歴史パネル展示を行い、普段の生活を支える「土木」について思いを馳せていただきました。



路面標示技能検定

令和元年八月六日(火)に、伊勢崎市内にある群馬県職業能力開発協会の技術検定場において、厚生労働大臣認定の国家資格である「路面標示施工技能士」の検定試験(実技が実施されました。

今回、当組合からは七名が資格取得に挑みました。当日は、受験者が作図と塗装作業を行い、検定員が採点を行いました。日頃から慣れているはずの作業ではあっても、猛暑の中、そして検定員が注視しているプレッシャーの中、一生懸命、課題に取り組みでいきましたが、九月八日(日)に行われた学科試験とあわせて、合格者は5名という結果になりました。

これからも、安全に工事を行える人材育成を目指すと共に、責任ある「路面標示施工技能士」としての研鑽を積んでいただけるよう取り組んでいきたいと思っております。



第28回 つり大会

令和元年九月一日(日)に恒例となりました群馬県交通安全施設業協同組合青年部主催の第二十八回釣り大会が、前橋市柏倉町の「大崎釣りばり」にて開催されました。

天気も絶好の行楽日となり、組合員賛助会員とその家族、総勢五〇二人の歓声や子供達の笑顔が溢れる中、終始賑やかな二時を過ごし、友好と親睦を深めることができました。魚のつかみ取りでは子供達が慣れない手つきで心不乱に魚を追いかける姿が微笑ましく感じられ、その後無事に閉会する事が出来ました。

また、皆様にご協力頂いた募金及び模擬店の売上金(二四六、二九九円)につきましては、十月七日(月)に佐藤交通遺児福祉基金に寄付させていただきます。

組合員及び家族の皆様のご協力に感謝とお礼を申し上げるとともに、次回開催にあたっては今年の反省を活かしてさらに良い行事にしていきたいと思っております。

■組合員

ダイケンテクノ(株)・(株)日装・(株)中井産業・富友産業(株)・富士技工(株)・群馬ライン企画(株)・新日東(株)・(株)コムテックス・(株)サンテック・(株)三積商事・サン(株)・共進安全(株)・三菱産業(株)・昭和サイン(株)・(株)信交・(有)高崎保安機材・中央ライン(株)・(株)日栄ライン工業・(株)ヒロタ・マーキングウェイ(株)・(株)三山・(株)友邦

■賛助会員

(株)アークノハラ交通施設部東日本ブロック那須営業所・(株)吾妻商会交通用品部アトミクス(株)・岩澤建設(株)群馬支店・岳南光機(株)・信号器材(株)北関東営業所・新道路企画(有)桐生支店・スリーエムジャパン(株)トランスポート事業部・積水樹脂(株)群馬工場・燕振興工業(株)・日鉄防食(株)道路資材グループ・日之出水道機器(株)埼玉営業所・扶桑工業(株)群馬営業所・ヨシモトポール(株)関東支店

